

在留邦人の皆様

在ベナン大使館領事班よりお知らせです。

以下のとおり、9月12日頃から各地でイスラム教の犠牲祭が行われますが、昨今のイスラム過激派によるテロ事件の発生、特に本年のラマダン月に際するテロ事件の頻発を踏まえて、以下のとおり、外務省より海外安全情報(広域情報)が発出されましたのでお知らせします。

当地においても、9月12日に犠牲祭の祝日が予定されています。

このため、同種事件が当地で発生しないとは断言できません。

特に、繁華街の飲食店や市場等不特定多数が集まる場所、ホテルなどの宿泊施設、ビーチ等のリゾート施設、観光施設等はテロの標的となりやすい場所ですので、これらの場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、事前の逃走経路を確認する等、安全確保に十分注意を払ってください。

当館宛てに在留届を提出していただいている方であっても、当館の管轄区域外（ベナン以外の国）を来訪される方は、有事発生の際の迅速な安否確認を行うため、「たびレジ」の登録に御協力をお願いいたします（以下本文（3）イ参照）。

また、上記の事件に限らず、邦人に係るテロ・誘拐事件等の発生又はその可能性に関する具体的な情報を入手された場合には、当館まで御連絡いただけますよう、併せてお願い申し上げます。

(件名)

犠牲祭（イスラム教の祝日） 期間に伴う 注意喚起

(URL)

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C244>

(ポイント)

- ・9月12日（月）から9月15日（木）頃までは、イスラム教の犠牲祭に当たります。
- ・この期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、以下を参照し、テロ事件等不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努めてください。

(内容)

- 1 9月12日（月）から9月15日（木）頃までは、イスラム教の犠牲祭（イード・アル

＝アドハー、一部の地域ではクルバンやタバスキとも言われます。)に当たります。犠牲祭は、イスラム教徒によるサウジアラビアの聖地メッカへの大巡礼が終わりを迎えるイスラム暦 12 月 10 日から 3・4 日間行われ、この間、イスラム圏の国々では休日となります。また、欧米諸国等の非イスラム圏においても、イスラム教徒が多数居住する地区等では、犠牲祭にかかわる宗教行事が行われることがあります。

犠牲祭に際して、イスラム教徒は、神（アッラー）への捧げ物として、羊、牛、山羊などを屠り、貧しい人々と分け合うことが習慣となっています。

2 テロの脅威に関しては、現在のところ、犠牲祭に際してテロの実行を呼びかける声明などは確認されていません。しかしながら、イスラム教徒にとってもう一つの大きな宗教行事であるラマダン月に際してテロを呼びかける声明を発出するなど活発な活動をしている I S I L（イラク・レバントのイスラム国）の広報担当幹部の「殉教」が最近発表され、その報復テロのおそれも排除できません。また、本年の 9 月 11 日は、2001 年の米同時多発テロの 15 周年にあたります。これらを踏まえ、念のため、テロへの注意を強化する必要があります。

3 つきましては、犠牲祭期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所（モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4 海外渡航前には万一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3 か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

3 か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#>)

(参考広域情報・スポット情報)

・「欧州における記念日や各種イベントを狙ったテロ等に対する注意喚起」(2016年7月28日)

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C202>

・「イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起」(2016年5月30日)

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C153>

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 5140

○外務省 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

(現地大使館連絡先)

○在ベナン日本国大使館

住所：Zone Residentielle de Cotonou sis a Djomehountin, 12eme arrondissement,
COTONOU BENIN

(郵便物宛先：Ambassade du Japon, 08 B.P.283, Tri Postal, Cotonou, Benin)

電話：(市外局番なし) 21-30-59-86

国外からは (国番号 229) 21-30-59-86

F A X：(市外局番なし) 21-30-59-94

国外からは (国番号 229) 21-30-59-94

ホームページ：<http://www.bj.emb-japan.go.jp/j/>